



平成21年4月発行
発行者 放送大学
富山学習センター
責任者 所長 渡邊 裕司

放送大学富山学習センターを利用した学びのすすめ

富山学習センター所長 渡邊 裕司

平成21年度第1学期に放送大学に入学された皆様、入学おめでとうございます。私ども 富山学習センター一同は皆様に心から歓迎いたします。また、在学生の皆様には、学習センターを大いに利用して勉学に励んでいただきたいと思います。

放送大学はこの4月から学部と大学院が再編成されました。学部は1学科5コースとなりました。それに伴い、卒業間近な方以外は新コースに移行することが勧められています。授業科目は基礎、共通、専門、総合の4つに区分されていますが、それらをどのように履修すれば良いかは、授業科目案内にある学習テーマ別の“全科履修生授業科目履修例”を参照されると理解し易いでしょう。また、大学院は学部のコースの上に乗せるかたちで、1研究科6プログラムに改編されました。

学習センターで開設される面接授業は1時限が85分(合計8時限)となりました。開講日時は自由に設定できるようになっていますが、当センターでは8月以外は土日型で実施予定です。今年度から新教務情報システムが導入され、科目登録、申請、変更、届出などが簡単にでき、試験結果なども早く閲覧できるようになりました。平成22年度第1学期申請分からは、前学期の試験の可否結果を確認してから科目登録ができるようになります。

さて、当センターで長い間客員教員を務めていただいた城山正幸、竹内茂彌両先生が退任され、新たに心理学の海老原直邦、看護学の永山くに子の両先生が就任されました。今村弘子(中国経済)、奥田 實(社会学・教育社会学)、荻原 洋(英語教育)、盛永審一郎(哲学・倫理学)の4先生は今年度もお勤めいただきますので、学習上の悩みなどがありましたら遠慮なく先生方にご相談ください。

論語の学而第一に、「子曰、学而時習之、不亦説乎。有朋自遠方来、不亦乐乎。人不知而不愠、不亦君子乎。」があります。この句の背景と真の意味については、岐阜学習センターの「ふれあい」第110号で安東俊六先生が丁寧な解説をして下さいました。縮めの部分を引用させていただくと、「そのようにして己の人間性を養い高めても、人が高く評価してくれるとは限らない。しかし、そんなことは気にもかけず、己が高まったのだからいいと思っている。そんな人こそ君子ではないか。」

皆様がこのような志をもって、学習センターを利用しながら尚一層、勉学の進展を図られるよう念じております。